

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語 IC (English IC) 111007-14-000					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
1 年次配当科目「英語 IC クラス」は、「TOEIC テスト」対策を念頭に置きながら、基礎的知識の再確認を行う基礎レベルのクラスである。比較的易しい練習問題を解くことにより、(大学レベルの) 基礎的な英語力を身につける。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
1. 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。 2. わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。 3. 長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」での自習も忘れないこと。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ テキスト (教科書)									
小宮徹ほか (改訂新版 2022 年) <i>Grammar Plus</i> 【Second Edition】(大学英語『グラマー・プラス』改訂新版)、南雲堂 ★改訂されたので、昨年度 (2022 年度) の「英語 I」の授業で指定した教科書と内容が同じではない。									
⑥ 参考図書・指定図書									
Educational Testing Service (2022) 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 9』国際ビジネスコミュニケーション協会									
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語を理解できる。主語と動詞の一致、自動詞と他動詞、時制 (現在、過去、未来)、助動詞、進行形、受動態、不定詞、完了形等の用法を理解し、運用できる。 (ii) 基礎的な文法用語を理解できる。(長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の学習を含む。)									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語の理解	基礎的な英語の理解・運用が自力ででき、授業内容を超えた学修成果を示している。	基礎的な英語の理解・運用が自力ででき、テキスト記載の内容をよく理解している。	基礎的な英語の理解がある程度自力ででき、教員等の支援を受ければ運用もできる。	基礎的な英語の理解が十分とは言えないが、教員等の支援を受ければ理解できる。	基礎的な英語の理解が、授業を受けてもできない。
(ii) 基礎的な文法用語の理解 (米百俵ドリルを含む)	基礎的な文法用語を理解 (米百俵ドリルを含む) でき、テキスト内容を超えた学修成果を示している。	基礎的な文法用語を理解できる。米百俵ドリルに取り組んでおり、要求されたレベルを全項目で達成している。	基礎的な文法用語を理解できる。米百俵ドリルに取り組んでおり、要求されたレベルを全項目でほぼ達成している。	基礎的な文法用語を理解できる。米百俵ドリルに取り組んでおり、要求されたレベルに近づいている。	基礎的な文法用語を理解していない。米百俵ドリルに取り組んでいない。
(iii)					

⑨ 学習の到達目標 (評価項目) とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標 (評価項目)	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%					15%		100%
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語の理解	85%							85%
(ii) 基礎的な文法用語の理解 (米百俵ドリルを含む)						15%		15%
(iii)								
フィードバックの方法	学習の進捗状況 (米百俵ドリルを含む) を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。補足プリントを配付することもある。							

⑩ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
1. 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保すること。 2. 「失格」評価にならないよう出席に関して、しっかり自己管理を行うこと。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	TOEIC テストとは	TOEIC テスト関連の配付プリント、 テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。	120 分
2	be 動詞、一般動詞	テキスト pp. 8-9 の予習・復習	120 分
3	練習問題	テキスト pp. 10-13 の予習・復習	120 分
4	現在形、過去形	テキスト p. 14、p. 20 の予習・復習	120 分
5	練習問題	テキスト pp. 15-19, pp. 21-25 の予 習・復習	120 分
6	代名詞（Pronouns）	テキスト pp. 26-28 の予習・復習	120 分
7	練習問題	テキスト pp. 29-31 の予習・復習	120 分
8	前置詞（Prepositions）	テキスト pp. 32-33 の予習・復習	120 分
9	練習問題	テキスト pp. 24-37 の予習・復習	120 分
10	進行形（Progressive Tenses）（基礎）	テキスト p. 38 の予習・復習	120 分
11	練習問題①	テキスト pp. 39-41 の予習・復習	120 分
12	練習問題②	テキスト pp. 42-43 の予習・復習	120 分
13	名詞と冠詞（Nouns and Articles）（基礎）	テキスト pp. 44-46 の予習・復習	120 分
14	練習問題	テキスト pp. 47-49 の予習・復習	120 分
15	前期まとめ	各回授業の要点の復習と期末試験 に向けた準備学習	120 分
16	助動詞（Modals）（基礎）	テキスト p. 50 の予習・復習	120 分
17	練習問題①	テキスト pp. 51-53 の予習・復習	120 分

18	練習問題②	テキスト pp. 54-55 の予習・復習	120 分
19	未来形 (Simple Future Tense) (基礎)	テキスト pp. 62-63 の予習・復習	120 分
20	練習問題①	テキスト pp. 64-67 の予習・復習	120 分
21	不定詞 (Infinitives) (基礎)	テキスト pp. 92-93 の予習・復習	120 分
22	練習問題①	テキスト pp. 94-95 の予習・復習	120 分
23	練習問題②	テキスト pp. 96-97 の予習・復習	120 分
24	動名詞 (Gerunds)	テキスト p. 98 の予習・復習	120 分
25	練習問題	テキスト pp. 99-100 の予習・復習	120 分
26	受動態 (Passive Voice) (基礎)	テキスト pp. 110-111 の予習・復習	120 分
27	練習問題	テキスト p. 112 の予習・復習	120 分
28	現在完了 (Present Perfect) (基礎)	テキスト pp. 146-147 の予習・復習	120 分
29	練習問題	テキスト p. 148 の予習・復習	120 分
30	後期まとめ	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	120 分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性